

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公表番号】特表2011-526293(P2011-526293A)

【公表日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-040

【出願番号】特願2011-516635(P2011-516635)

【国際特許分類】

C 07 D 211/52 (2006.01)

A 61 K 31/451 (2006.01)

A 61 P 1/00 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 19/02 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 31/18 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 9/00 (2006.01)

A 61 P 11/06 (2006.01)

A 61 P 11/00 (2006.01)

A 61 P 13/12 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 25/04 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 37/02 (2006.01)

A 61 P 37/04 (2006.01)

A 61 P 37/06 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 211/52 C S P

A 61 K 31/451

A 61 P 1/00

A 61 P 1/04

A 61 P 19/02

A 61 P 29/00

A 61 P 29/00 1 0 1

A 61 P 31/18

A 61 P 9/10

A 61 P 9/10 1 0 3

A 61 P 9/10 1 0 1

A 61 P 9/00

A 61 P 11/06

A 61 P 11/00

A 61 P 13/12

A 61 P 17/06

A 61 P 17/00

A 61 P 25/00

A 61 P 25/04

A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 37/02
 A 6 1 P 37/04
 A 6 1 P 37/06
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月18日(2012.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

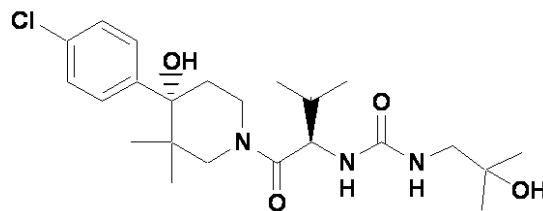
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式(I):

【化 1】



(I)

の化合物もしくは立体異性体、または医薬的に許容されるその塩。

【請求項 2】

ケモカインもしくはケモカイン受容体活性を調節するための、医薬的に許容される担体および治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含有する医薬組成物。

【請求項 3】

CCR-1活性を調節するための、医薬的に許容される担体および治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含有する医薬組成物。

【請求項 4】

CCR-1受容体活性を調節するための、医薬的に許容される担体および治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含有する医薬組成物。

【請求項 5】

炎症性疾患を治療するための、医薬的に許容される担体および治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含有する医薬組成物。

【請求項 6】

CCR-1によって少なくとも部分的に媒介される炎症性疾患を治療するための、医薬的に許容される担体および治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含有する医薬組成物。

【請求項 7】

障害を治療するための、医薬的に許容される担体および治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含有する医薬組成物であって、ここで、該障害は、骨関節炎、動脈瘤、発熱、心血管作用、クローン病、うっ血性心不全、自己免疫疾患、HIV感染症、HIV関連認知症、乾癬、特発性肺線維症、移植動脈硬化症、物理的もしくは化学的に誘発された脳外傷、神経因性疼痛、炎症性腸疾患、肺炎、潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデス、腎毒性血清腎炎、糸球体腎炎、喘息、多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症、関節リウマチ、

脊椎関節症、再狭窄、臓器移植、多発性骨髄腫、結腸直腸癌、肝細胞癌、または他の癌から選択される、該医薬組成物。

【請求項 8】

医薬的に許容される担体および治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物を含有する医薬組成物を有用な医薬剤形に製剤化することを含む、骨関節炎、動脈瘤、発熱、心血管作用、クローン病、うっ血性心不全、自己免疫疾患、HIV感染症、HIV関連認知症、乾癬、特発性肺線維症、移植動脈硬化症、物理的もしくは化学的に誘発された脳外傷、神経因性疼痛、炎症性腸疾患、肺炎、潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデス、腎毒性血清腎炎、糸球体腎炎、喘息、多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症、関節リウマチ、または脊椎関節症の治療のための医薬の製造方法。

【請求項 9】

骨関節炎、動脈瘤、発熱、心血管作用、クローン病、うっ血性心不全、自己免疫疾患、HIV感染症、HIV関連認知症、乾癬、特発性肺線維症、移植動脈硬化症、物理的もしくは化学的に誘発された脳外傷、神経因性疼痛、炎症性腸疾患、肺炎、潰瘍性大腸炎、全身性エリテマトーデス、腎毒性血清腎炎、糸球体腎炎、喘息、多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症、関節リウマチ、脊椎関節症、再狭窄、臓器移植、多発性骨髄腫、結腸直腸癌、肝細胞癌、または他の癌を含む、炎症性、感染性および免疫調節性の障害および疾患を予防もしくは治療するための、治療上有効な量の請求項 1 に記載の化合物および 1 つ以上の他の活性成分を組み合わせる含む剤であって、該他の活性成分を請求項 1 に記載の化合物と同時にもしくは連続して投与することを特徴とする、該剤。

【請求項 10】

該他の活性成分が、抗炎症薬、鎮痛薬、疼痛緩和剤、増強薬、うっ血除去薬、鎮咳剤、利尿薬、鎮静性もしくは非鎮静性抗ヒスタミン薬、インテグリンアンタゴニスト、ステロイド、免疫抑制剤、抗ヒスタミン薬、非ステロイド性抗喘息薬、非ステロイド性抗炎症薬 (NSAID)、シクロオキシゲナーゼ-2(COX-2)阻害剤、ホスホジエステラーゼタイプ IV(PDE-IV)の阻害剤、ケモカイン受容体の他のアンタゴニスト、コレステロール低下薬、抗糖尿病薬、インターフェロン製剤、抗ウイルス化合物、5-アミノサリチル酸、代謝拮抗薬、または細胞傷害性癌化学療法薬である、請求項 9 に記載の剤。